

# 伊集院保健所感染症情報

2026年第18週（令和8年4月27日～令和8年5月3日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

**管内流行発生警報発令！：手足口病**

**管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第15週	第16週	第17週	第18週	先週からの増減	第17週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	67.00	67.00	75.00	103.00	↗	47.25	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.00	0.00	0.00	→	0.21	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.50	↗	0.21	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	3.00	3.00	1.00	3.00	↗	0.97	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	3.00	7.00	10.00	10.00	→	3.35	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	4.48	↘
水痘	2	1	1	0.00	1.00	1.00	0.00	↘	0.26	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	9.00	↗	1.23	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.32	↗
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.52	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	1.00	4.00	↗	0.16	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
RSウイルス感染症	—	—	—	2.00	1.00	2.00	1.00	↘	1.23	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## TOPIC 旅行から帰って 何か変？ — 旅行後の健康チェック

海外旅行から帰ってきて、何らかの体調不良を訴える方は、実に全旅行者の数十パーセントに及ぶと言われています。中でも下痢などの胃腸症状、皮膚の異常、咳、そして発熱がよくみられる症状です。自然に回復することも多いのですが、特殊な感染症による体調不良で、感染症に対して治療が必要な場合もあります。

海外旅行、特に発展途上国を旅行した後、少なくとも6か月の間は、旅行関連の感染症が生じる可能性があることを覚えておきましょう。医療機関にかかる際には、必ず海外旅行したことを教えてください。デング熱やリケッチア感染症による症状は、ほぼ帰国後3週間以内にみられますが、マラリアなどの寄生虫による感染症や一部の細菌による感染症の症状は、数週間から数か月あるいは数年たってから生じることもあります。

海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。早めに医療機関を受診しましょう。



## 麻疹（はしか）に注意しましょう！

### <主な症状>

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ 2～3 日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発しんが出現します。

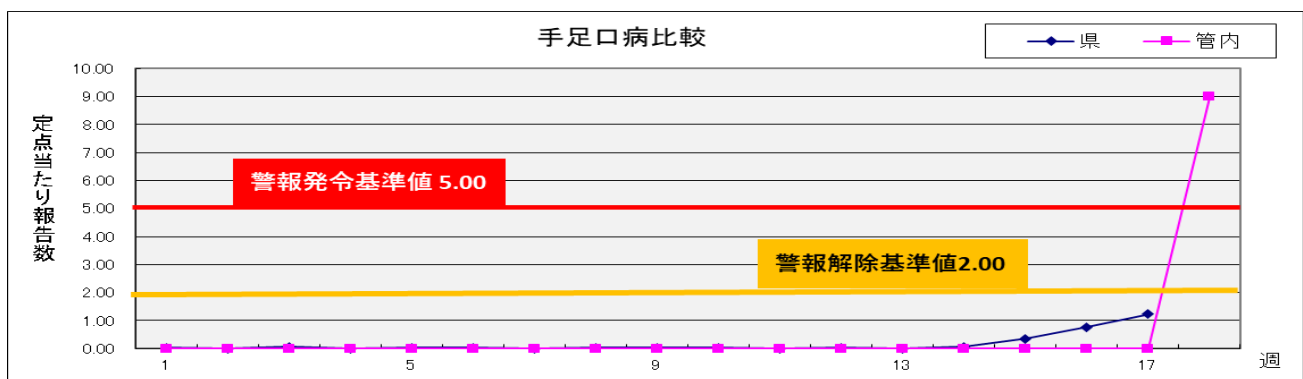


### 県民の皆様への注意喚起

- ①麻疹を疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。
- ②麻疹の予防には、予防接種が最も有効な予防法の 1 つです。  
麻疹の定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

## 注意すべき感染症

### ・手足口病（流行発生警報発令！）



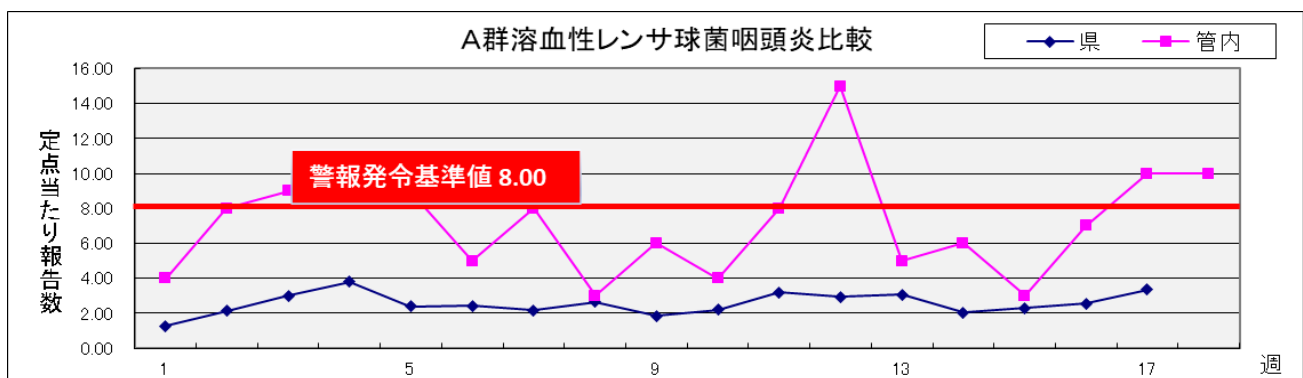
第 18 週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、9 人でした。

年齢別では、1 歳（7 人）、6 カ月～11 カ月・3 歳（各 1 人）の報告がありました。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

### ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第 18 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、10 人でした。年齢別では、3 歳・7 歳（各 3 人）、1 歳・5 歳・8 歳・9 歳（各 1 人）の報告でした。

感染すると、2～5 日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/27～5/3（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、溶連菌感染症が 1 人（日置市）報告されています。